

# 特別支援教育部会だより

7月に入り、部会員の皆様におかれましては、ご多忙な日々を送られていることと存じます。さて、レポート作成に当たって、分科会のテーマについて再度お知らせいたします。ご確認の上作成に当たっていただければと思います。

「特別支援教育部会」は、主に通常学級での配慮を必要とする子どもへの支援を考えていくことが研究課題です。研究協議会では「通常学級において明日から使える支援方法」等が交流できると有意義な時間になると考えています。特別支援学級の先生方も、日頃の実践の中から通常学級の児童の支援に生かせる実践内容でのレポートをよろしく願いいたします。

北ブロック会場校 石狩市立緑苑台小学校	南ブロック会場 恵庭市立恵庭小学校
研究課題	通常学級の個別の教育的配慮を要する児童生徒一人一人のニーズに応える教育的支援はどうあればよいか。
研究内容と キーワード	<p>第1分科会「通常学級における学習に困難のある児童生徒への支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み、書き、計算</li> <li>・学習準備の困難、忘れ物等</li> <li>・注意散漫、離席等</li> </ul> <p>第2分科会「通常学級における社会性に発達の違いやコミュニケーションに障害があり、主に集団での生活場面に困難のある児童生徒への支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールの理解</li> <li>・こだわり</li> <li>・自傷、他害</li> <li>・破壊行為</li> <li>・被虐待児等</li> </ul> <p>第3分科会「通常学級の特別の支援を要する児童生徒の校内支援体制や、関係機関との連携」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学指導、進路指導（幼小中高の連携）</li> <li>・教育相談のあり方</li> <li>・医療機関等の関係機関との連携</li> <li>・校内の支援体制</li> <li>・担任、コーディネーターとしての役割</li> </ul>

## 実践交流レポート作成について

※A4版（両面印刷・左横2穴）を基本とし、ページ数の制限はありません。所属の分科会をHPで確認の上、下記の観点を参考に、簡単に結構ですので「1人1レポート」で作成していただくようお願いします。内容によっては、学校共同レポートでも結構です。

- ★児童・生徒の主訴に基づいた支援とその成果・課題
- ★実践上の行き詰まりや悩み相談
- ★関係機関との連携や、医療機関・支援機関の紹介
- ★教材教具や書籍などの紹介
- ★特別支援学級の先生は、「通常学級でも可能な支援方法」の実践例や紹介など

◎各分科会の進め方について ～ グループ分けは、当日の受付でお知らせします。

### 第1分科会・第2分科会

- ①小グループ（5～6名）に分けて、レポート交流を中心とした話し合いを行います。
- ②休憩後、第1・第2分科会全員を「A・B」の2グループに分けて、インシデント・プロセス法による事例検討ワークショップを行います。  
（構成人数に偏りがあるので、小・中には分けません。）

### 第3分科会

- ①小グループ（5～6名）に分けて、レポート交流を中心とした話し合いを行います。
- ②休憩後、選択テーマ別（当日発表）の小グループによる交流研修会を行います。

問い合わせ  
電話（0123）32-3288

事務局 工藤（恵庭小学校）まで  
FAX（0123）32-3288